



TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

1-3 KAGURAZAKA, SHINJUKU-KU, TOKYO 162-8601, JAPAN

Phone: +81-3-3260-4271

2023年9月21日

報道関係者 各位

東京理科大学 近代科学資料館「寺尾壽 企画展」 内覧会開催のご案内

東京理科大学（学長：石川 正俊）は、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」との建学の精神を紹介する施設として、神楽坂キャンパスに「近代科学資料館」を設置しています。

このたび、同施設において、本学創設者のひとりであり、初代東京物理学校校長のほか、初代東京天文台長等を歴任した寺尾壽先生の没後百年を記念し企画展を開催いたします。

企画展では、我が国近代天文学の父とも言える寺尾の生涯をたどり、交友関係を紹介しながら、近代天文学の基礎がどのように築かれたかを探り、その後の天文学の歴史にどのように影響を与えたかを紹介します。同時に、寺尾の教育者としての側面も掘り下げ、東京大学教授や物理学校校長としての側面も紹介します。

展示内容としては、江戸時代の天文書、東京帝国大学理科大学での寺尾壽講義「星学」の筆記ノート、そして「天文月報」寺尾壽追悼号のほか、洋画家黒田清輝が描いた「寺尾壽博士像」の紹介、さらに、メートル原器[※]の複製と東京物理学校でメートル原器について教えた明治期の講義ノートや国立天文台の天文機器資料（バンベルヒ子午儀、クロノメーター、経緯儀）も一部展示いたします。

つきましては、企画展開催に伴い下記のとおり内覧会を開催しますので、ご多用のこととは存じますが、ぜひ取材いただきたくご案内申し上げます。

ご来場の際には、本学広報課へ10月6日（金）15:00までにご連絡いただければ幸いです。

記

日時： 2023年10月11日（水）13:00～13:45

会場： 東京理科大学 神楽坂キャンパス 近代科学資料館（二村記念館）
（東京都新宿区神楽坂1丁目3番地）

次第： (1) オープニングセレモニー 13:00～

① 理事長挨拶 浜本 隆之 理事長

② 学長挨拶 石川 正俊 学長

(2) 内覧会 13:15～

以上

※ 1889年にパリで開催された万国測地学総会に委員として出席した寺尾は、その帰途にメートル原器を日本に持ち帰ったと伝わっている。

「1889年にパリで開催された万国測地学会議に委員として列席した寺尾君は、その帰途に基本尺及び基本分銅を責任もって携帯したように記憶します。」（寺尾教授在職満25年祝賀会に於ける藤沢利喜太郎教授演説抄）『東京物理学校五十年小史』，東京物理学校，1930年発行

〈ご参考〉

東京理科大学では、今回の企画展を皮切りに、創立 150 周年を迎える 2031 年に向け、本学の歴史を振り返る企画として、21 人の創設者や本学に多大な貢献をされた人物の功績などを展示する企画展を継続的に開催することを予定しております。是非、ご期待ください。

また、本企画展会期中の 11 月 24 日（金）には、本学理学部第二部数学科教授 佐古彰史による「数学で解く宇宙」と題したトークイベントの開催も予定しております。併せて、ご紹介、ご取材いただけますと幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】
東京理科大学 広報課（担当：木村・浦川）
TEL：03-5228-8107
E-mail：koho@admin.tus.ac.jp

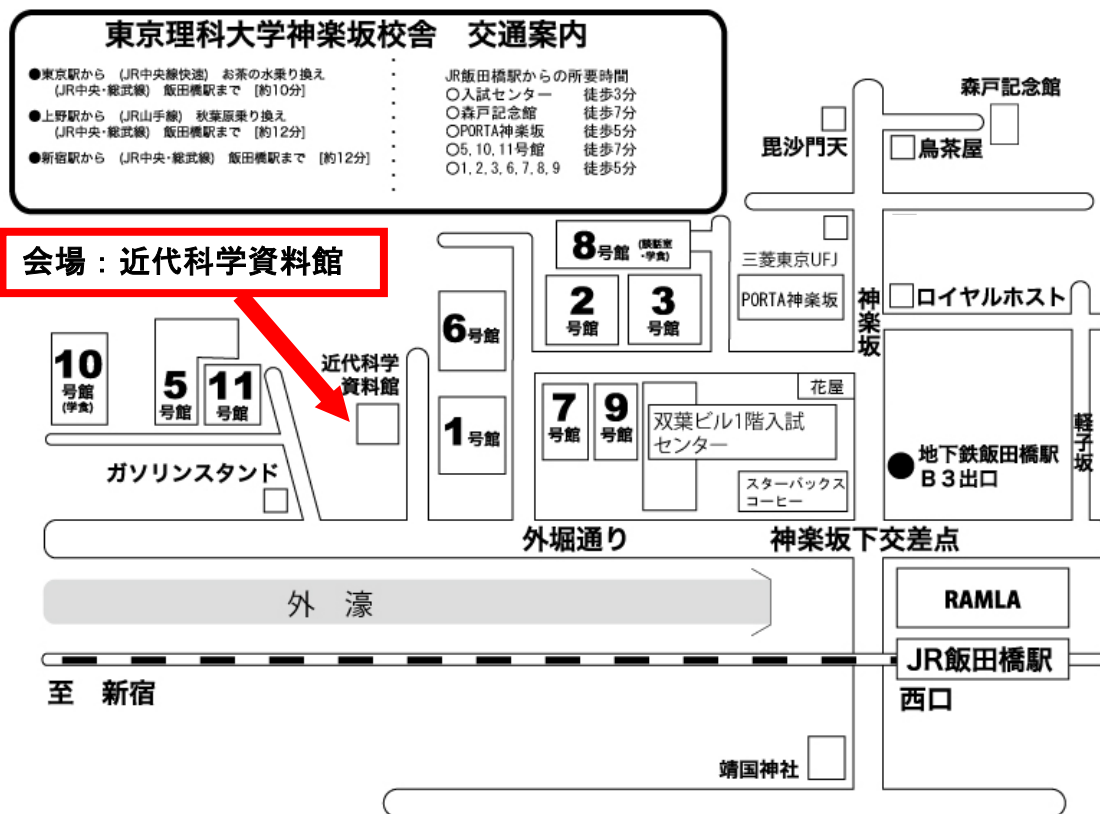
【会場ご案内地図】

東京理科大学 近代科学資料館

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3 TEL：03-5228-8107（広報課直通）

＜アクセス＞

- JR 中央線：飯田橋駅（西口）より徒歩 5 分
- 東京メトロ：飯田橋駅 B3 出口より徒歩 3 分



※駐車場はございませんので、近隣の駐車場をご利用ください。

THE ASTRONOMICAL HERALD

Special Exhibition in Commemoration of Hisashi Terao's 100th Anniversary of Death

寺尾壽没後百年記念企画展

東京天文台初代台長

寺尾壽

星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者

HISASHI TERAO

入館
無料

2023年
10/12(木)~12/23(土)

[水・木・金]12:00~16:00 [土]10:00~16:00

東京理科大学 近代科学資料館

[2F]多目的室 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
tel.03-5228-8224

東京理科大学の前身である東京物理学校の創設者21人の1人である寺尾壽について、彼の学びと彼からの教え、さらに周囲の人々を紹介し、近代天文学の歴史を紹介する展示を行います。

福岡県の士族出身の寺尾壽(1855-1923)は、東京大学理学部において伝語で物理学を学び、フランスのパリのソルボンヌ大学に国費留学して天文学など近代物理学を学び、帰国後東京大学理学部星学科教授となりました。また初代物理学学校校長を務め、さらに1888(明治21)年発足した東京天文台の初代台長に任命され31年間務めました。寺尾の生涯をたどり、交友のあった人々を紹介するなかで、近代天文学の基礎がどのように築かれていったかを探り、その後受け継がれる天文学の未来を紹介します。

寺尾壽 没後百年記念企画展
東京天文台初代台長 寺尾 壽
 ～星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者～



肖像画「寺尾壽博士像」の紹介
 1909(明治42)年に寺尾の東京大学在職25年を祝し、洋画家黒田清輝が描いた。「天文月報」9号(寺尾壽追悼号)には寺尾のサインを添え掲載された。実物は東京国立博物館所蔵。

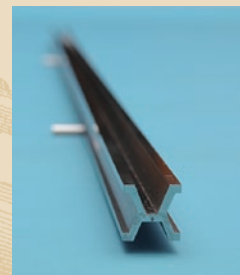
子午儀
 持ち運びが可能なので、日本の各地の経度を決定するために使われたもの。
 <国立天文台所蔵>



「天文月報」日本天文学会発行
 1923(大正12)年9月(第16巻 第9号)
 (寺尾壽追悼号)表紙
 1908(明治41)年4月に発刊し、
 寺尾が発刊の辞を寄稿。現在も続く
 研究誌。

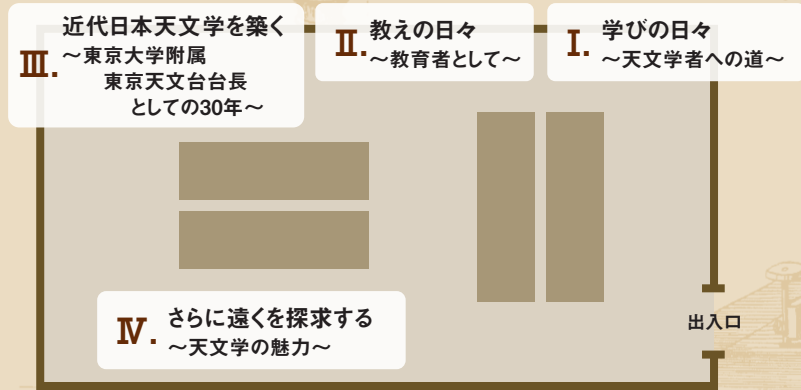


日本国メートル原器(No.22)
 1890(明治23)年にフランスから日本に到着し、1960(昭和35)年まで1mの基準として用いられた。
 <産業技術総合研究所所蔵:国の重要文化財> ※展示はレプリカ

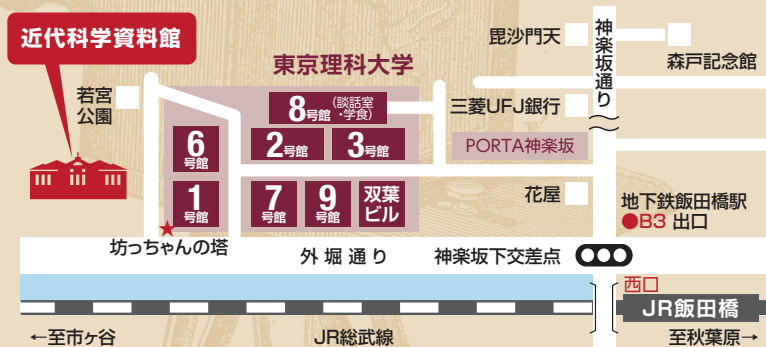


★ 関連トークイベント ★

11月24日(金)「数学で解く宇宙」
 15:00～16:00
 講師 佐古彰史 東京理科大学理学部第二部数学科教授
 事前申し込み・詳細は当館HPへ!
 <下記、開催日は開館しています>
 10月29日(日)「ホームカミングデー」
 11月24日(金)・25日(土)「理大祭」



期 間 2023年10月12日(木)～12月23日(土)
 開館時間 水曜・木曜・金曜 12:00～16:00 土曜 10:00～16:00 **入館無料**
 休館日 日曜・月曜・火曜・祝日
 場 所 東京理科大学 近代科学資料館 2F多目的室
 住 所 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
 TEL 03-5228-8224
 ホームページ <https://www.tus.ac.jp/museum/>
 主 催 東京理科大学 近代科学資料館
 展示協力 一般社団法人 学士会
 公益社団法人 日本天文学会
 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所
 福岡県立修猷館高等学校



「JR 飯田橋駅」西口 徒歩4分 / 「地下鉄飯田橋駅」B3出口 徒歩3分



神楽坂
 まち飛びフェスタ
 2023

